

■日本大学豊山高等学校・中学校

校訓

強く
正しく
大らかに

教育方針

本校は日本大学の教育理念である「自主創造」の精神および「日本大学教育憲章」に定める「日本大学マインド」並びに「自主創造の3つの構成要素及びその能力」を有する生徒を育成するため、以下の教育方針を掲げる

- 一、至誠よく真理と正義を愛すること
- 一、知識技能を啓発し ことにあたって協力をおしまないこと
- 一、自主創造の精神に則り 自主性を養い責任を重んずること
- 一、勤労を尊び心身ともに健康であること
- 一、自他の人格を尊重し 礼儀正しく秩序を守ること
- 一、国際社会に活躍し 貢献できること

NIHON UNIVERSITY
BUZAN HIGH SCHOOL

校旗・校章



旧豊山中学校時代のものは三つ柏であったが、日本大学に移行することによって、その象徴である若桜になった。中央に桜花を配し、周囲に四枚の葉をあしらったこの文様は、日本大学付属校共通のもので、桜花の部分にかぶせた文字が各校によって異なる。



高等学校



中学校

■日本大学

日本大学の目的および使命

日本大学は 日本精神にもとづき
道統をたつとび 憲章にしたがい
自主創造の気風をやしない
文化の進展をはかり
世界の平和と人類の福祉とに
寄与することを目的とする

日本大学は 広く知識を世界にもとめて
深遠な学術を研究し
心身ともに健全な文化人を
育成することを使命とする

日本大学教育憲章

日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。

◆日本大学マインド

日本の特質を理解し伝える力

日本文化に基づく日本人の気質、感性及び価値観を身につけ、その特質を自ら発信することができる。

多様な価値を受容し、自己の立場・役割を認識する力

異文化及び異分野の多様な価値を受容し、地域社会、日本及び世界の中での自己の立ち位置や役割を認識し、説明することができる。

社会に貢献する姿勢

社会に貢献する姿勢を持ち続けることができる。

◆「自主創造」の3つの構成要素及びその能力

自ら学ぶ

豊かな知識・教養に基づく高い倫理観

豊かな知識・教養を基に倫理観を高めることができる。

世界の現状を理解し、説明する力

世界情勢を理解し、国際社会が直面している問題を説明することができる。

自ら考える

論理的・批判的思考力

得られる情報を基に論理的な思考、批判的な思考をすることができる。

問題発見・解決力

事象を注意深く観察して問題を発見し、解決策を提案することができる。

自ら道をひらく

挑戦力

あきらめない気持ちで新しいことに果敢に挑戦することができる。

コミュニケーション力

他者の意見を聴いて理解し、自分の考えを伝えることができる。

リーダーシップ・協働力

集団のなかで連携しながら、協働者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。

省察力

謙虚に自己を見つめ、振り返りを通じて自己を高めることができる。

日本大学 学祖 山田顕義

略伝

弘化元年（1844）長門国松本村（現山口県萩市）に、萩藩士山田七兵衛顕行の長男として生まれた。幼名は市之允、後に顕義と改め、空齋と号した。伯爵。

安政4年（1857）頃松下村塾に入門し、師・吉田松陰の薰陶を受ける。戊辰戦争では、参謀として新政府軍を率い、東北諸藩および箱館五稜郭の旧幕府軍を降した。明治4年（1871）陸軍少将に任せられ、10月、岩倉欧米視察団に理事官として随行、軍制・法律などを調査研究する。

明治6年に帰朝後、東京鎮台司令長官・司法大輔を歴任。明治10年、西南戦争が勃発し、別働旅団司令長官として九州へ出征。明治11年、元老院議官、陸軍中将に任せられる。

以後、参議兼工部卿、内務卿、司法卿を歴任し、18年内閣制度発足にともない、初代司法大臣に就任する。

明治22年には皇典講究所所長に就任し、帝国大学法科大学教授宮崎道三郎らとともに同所内に日本法律学校を創設する。

明治25年（1892）11月、山口よりの帰路、生野銀山を視察中、急逝した。享年49歳。

（写真提供：日本大学広報部広報課）



山田顕義の書



山口県萩の松下村塾



官員一覧鑑（揚州周延画、明治15年頃、左上が山田顕義）



萩・顕義園の「山田顕義先生之像」



日本大学 100 周年を記念して改修された
護国寺内の山田顕義墓所（文京区）



箱館戦争官軍上陸の地（北海道爾志郡乙部町）
顕義率いる新政府軍が五稜郭攻略のため上陸した



山田顕義に師・吉田松陰が贈った扇面



山田顕義終焉之地（兵庫県朝来市）



日本大学・國學院大學発祥記念碑（東京都千代田区）
昭和 60 年に本学と國學院大學の共同で、
両校の母体である皇典講究所跡地に建立された



西南戦争司令長官等集合写真
(写真上：左から 4 人目が山田顕義、写真左：写真の裏書き)

